

| |
|----|
| 発表 |
|----|

城西現代政策研究会

城西現代政策研究編集

2019年度、城西現代政策研究編集委員会では、本学部の教員等の研究を奨励することにより、本紀要『城西現代政策研究』への投稿等がより活発になることを目指し、「城西現代政策研究会」を立ち上げました。その発表の案内は、2020年3月発行の本紀要第13巻第2号以降に掲載しています。

2021年度からは研究会の案内状に発表内容の要旨を載せ、それを城西大学機関リポジトリJURAにおいて公開しています。また、研究成果を社会に広めていくことも意識し、第7回研究会の内容は「講演録」としてまとめました。2022年度には海外から来日中の研究者による発表会を開催し、2023年には本学部教員による海外からの現地報告も行われるなど、国内外の研究者等にも輪を広げたグローバルな活動が展開されるようになりました。2023年度は最新のフランス系研究が発表されました。以下の通りです。

第12回 2023年6月23日（金）全学FD終了後

発表者：淵田 仁 氏

テーマ：「デジタルと人文学について：ルソー『社会契約論』電子校訂版作成の場合」

司会者：奈良澤 由美 氏

第13回 2024年1月24日（水）15：35～17：15

発表者：塚越 健司 氏

テーマ：「フーコー思想からみた『定量化された自己』現象」

司会者：淵田 仁 氏

なお、すでに2020年度、委員会名は「城西現代政策研究編集委員会・研究推進委員会」に変更されていましたが、さらに2024年度に委員会の組織が組みかえられました。本研究会を刷新したかたちで引き継ぐ組織は「研究推進委員会」の小委員会「研究推進」となり、本紀要の「城西現代政策研究編集」とは基本的に別個に活動をすることになりました。